

新韓金融グループ 2022 ESGハイライト

DO
THE RIGHT
THING



ESGを正しく 伝えます

新韓金融グループは、正しいESG（環境・社会・ガバナンス）経営を推進すべく、ESGをより誠実に、忠実に、公開していきます。

本誌はステークホルダーの皆さまに新韓のESGを分かりやすく説明するために、毎年年初に発行する「ESGハイライト」であり、「ESGレポート」は6月末に発行する予定です。

各グループ会社も下記のようにESG情報を積極的に公開しており、今後も、ESG開示を誠実に行ってまいります。

ESG 公開資料

新韓金融持株会社

- [ESGレポート](#)
- [ESGハイライト](#)
- [TCFDレポート](#)
- [ESG Factbook \(英語\)](#)
- [支配構造及び報酬体系年次報告書](#)
- [年次報告書 \(英語\)](#)

新韓金融希望財団

- [社会責任報告書](#)

新韓銀行

- [ESG成果レポート](#)
- [気候ファイナンスレポート](#)
- [エクエーター原則の履行報告書](#)
- [支配構造及び報酬体系年次報告書](#)

新韓カード

- [ESG成果レポート](#)
- [支配構造及び報酬体系年次報告書](#)

新韓投資証券

- [ESG成果レポート](#)
- [支配構造及び報酬体系年次報告書](#)

新韓ライフ

- [ESG成果レポート](#)
- [支配構造及び報酬体系年次報告書](#)

COVER STORY

ESGハイライトの表紙と主要ページには、発達障害のあるアーティストのエージェンシー「ディスエイブルド（THISABLED）」所属作家の作品を用いています。新韓スクエアブリッジが後援する企業でもあるディスエイブルドに所属する作家らが、一部の偏見や固定観念を打破し、才能を発揮することができるように、コラボレーションしながらサポートする新韓の心が込められています。



* インタラクティブPDFのリンク機能を利用しており、クリックすれば各資料をご覧いただくことができます。

ディスエイブルドと作家についての紹介は41ページの「作家のご紹介」をご覧ください。

Contents



ESG Way

正しい道を先に進みます

04



ESG Action

善い影響力の翼を広げます

09

2022新韓ESGの正・早・異

10

2022新韓ESG9大ニュース

11

ESG Perspectives

22

グローバルESG Action

26



ESG Promise

素晴らしい世界を花開かせます

29

ESG Insight

30

ESG Plan

32

ESG Invitation

33

ESG Key Note

35

ESG戦略

36

ESGの歩み

37

ESGイニシアチブへの参画

38

ESGに対する対外の評価

39

ESGの成果

40

作家の紹介

41

出版情報

41



本誌は、関連ページへの移動や関連ウェブページへのリンク機能が含まれている
インタラクティブPDFで発行しました。



ブックマーク



目次



参照
ページ



関連
サイト



動画

1

ESG WAY

正しい道を 先に進みます

誰もが夢見る世界に向けて新韓の三輪車が走ります。

前輪の「ガバナンス (G)」が導く方向に、「環境 (E)」と「社会 (S)」の後輪が支えながら、三つの車輪が互いに呼吸と視線を合わせて進みます。三つの車輪がそれぞれの役割を果たしてこそ目的地に到達することができるため、企業の正しい成長が社会の持続可能な発展へとつながるように、新韓は「正しく、早く、異なる」ESGの道のりを完成していきます。まだ誰も行ったことのない道、時には不可能に見えるこの道ですが、ステークホルダーの皆さまとESGの三輪車のペダルを力強く踏み、正しいことで満ち溢れる素晴らしい世界をつくっていきます。



発達障害のあるアーティストの遊び場
ハーティズム (HEARTISM)



キム・チェソン、自転車の風景-ゲッゴルギル

ESGを「正しく」理解し、
「早く」実行して先に道をつくる

新韓ESG Way

40年前の新韓のスタート当時の「金融報国」という創業理念にも、将来の新韓の目指す姿を示す「金融を世の中に役立たせる」というミッションにも、その中心には共感と共生のESGの価値があります。

ステークホルダーとともに成長し、善い影響力を発信するために、新韓は企業の発展がESGの価値創出と同じ方向に向かうように、グループレベルで管理しています。2015年に社会責任経営委員会（現在のESG戦略委員会）を設置し、韓国の金融グループで初めて理事会（取締役会）がESG経営を直接監督しはじめ、2020年にはESG戦略フレームワークを確立しました。2021年には全てのグループ会社のCEOが参加するESG推進委員会を新設し、理事会から実務組織まで一つにつながるESGの推進体制を完成し、ESGの実行力を高めました。

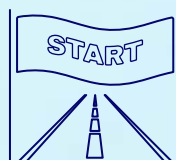
2022年にはESG情報開示の制度化・法制化の流れにプロアクティブに対応すべく、韓国の金融グループとして初めて開発した「新韓 ESG Value Index」と「新韓ESG評価モデル」を運営し、ESG情報の創出・活用に注力し、「Financed Emissions（投融資ポートフォリオの排出量）の測定システム」を構築することで、もう一つの「初めて」という記録を追加しました。

このように新韓は、ESGに対する決意であり、スローガンである「Do the Right Thing for a Wonderful World」を目指して、金融の善い影響力を通じて、正しいことで満ち溢れる素晴らしい世界をつくるために、環境（Green）、共生（Brave）、信頼（Fair）を戦略の方向として、ESG Wayの道を歩み続けています。

 新韓金融グループESG戦略フレームワーク

ESG MILESTONES

Where we started



Where we are



Where we will be



- 2005 社会責任報告書（現在のESGレポート）発行（銀行）
- 2014 グループミッション未来を共にするあたたかい金融策定
- 2015 社会責任経営委員会（現在ESG戦略委員会）新設
- 2017 グループ2020 CSR戦略策定

- 2018 TCFD支持宣言
- 2019 UNEP FI 責任銀行原則（PRB）加盟
- 2020 グループESG戦略策定(Zero Carbon Drive) 宣言
- 2021 ESG推進委員会新設
- 2022 炭素削減目標に対しSBTiの承認取得

グループ投融資ポートフォリオの炭素排出量をゼロにする

革新的企業の発掘・育成を通じて10のユニコーン企業を育成する

グループと共に歩むすべての人々の満足度を100%にする

0 CARBON

10 UNICORNS

100 SATISFACTION

全世界がカーボンニュートラル（ネットゼロ）を叫んでいます。しかし、地球気温の上昇は加速化しています。2022年に国連気候変動枠組条約（UNFCCC）が公開した報告書によると、温室効果ガスの排出量を大々的に削減しないと、今世紀末の地球気温は産業革命の前に比べて2.1℃から2.9℃上昇するといえます。これはパリ気候協定の目標である1.5℃を遥かに上回るものであり、カーボンニュートラルの推進はいつにも増して喫緊の課題となりました。

一層強化された気候行動計画と、より積極的なカーボンニュートラルの実践が必要な時期です。新韓金融グループは2020年に東アジアの金融グループとして初めて「Zero Carbon Drive（ゼロ・カーボン・ドライブ）」を公表し、誠実な実行に向けて2022年を炭素削減履行の元年とし、グループ会社のESG評価項目に炭素排出量の削減目標を追加しました。これは韓国の金融機関初の、そして唯一の取り組みであります。また、2022年11月に炭素削減目標について「科学と整合した目標設定イニシアチブ（SBTi）」の承認を取得し、信頼性を高めました。

新韓のプロアクティブなカーボンニュートラル戦略である Zero Carbon Driveをグリーン成長の青写真として、す産業の発展と同時に次の世代により健康な暮らしを残ることができるように、金融の本業を通じて持続可能なソリューションを提供してまいります。

カーボンニュートラルの推進目標

投融資ポートフォリオの炭素排出量
(Financed Emission)

43,816,695
tCO₂eq
(資産212兆ウォン)

33.7% 削減
(2020年比)

59.5% 削減
(2020年比)

0

ネットゼロ
達成

2020 → 2030 → 2040 → 2050

GREEN
BLUEPRINT

ESG Wayの
道筋の方向を示す
グリーン成長の青写真を
完成します

BRAVE NEW UNIVERSE

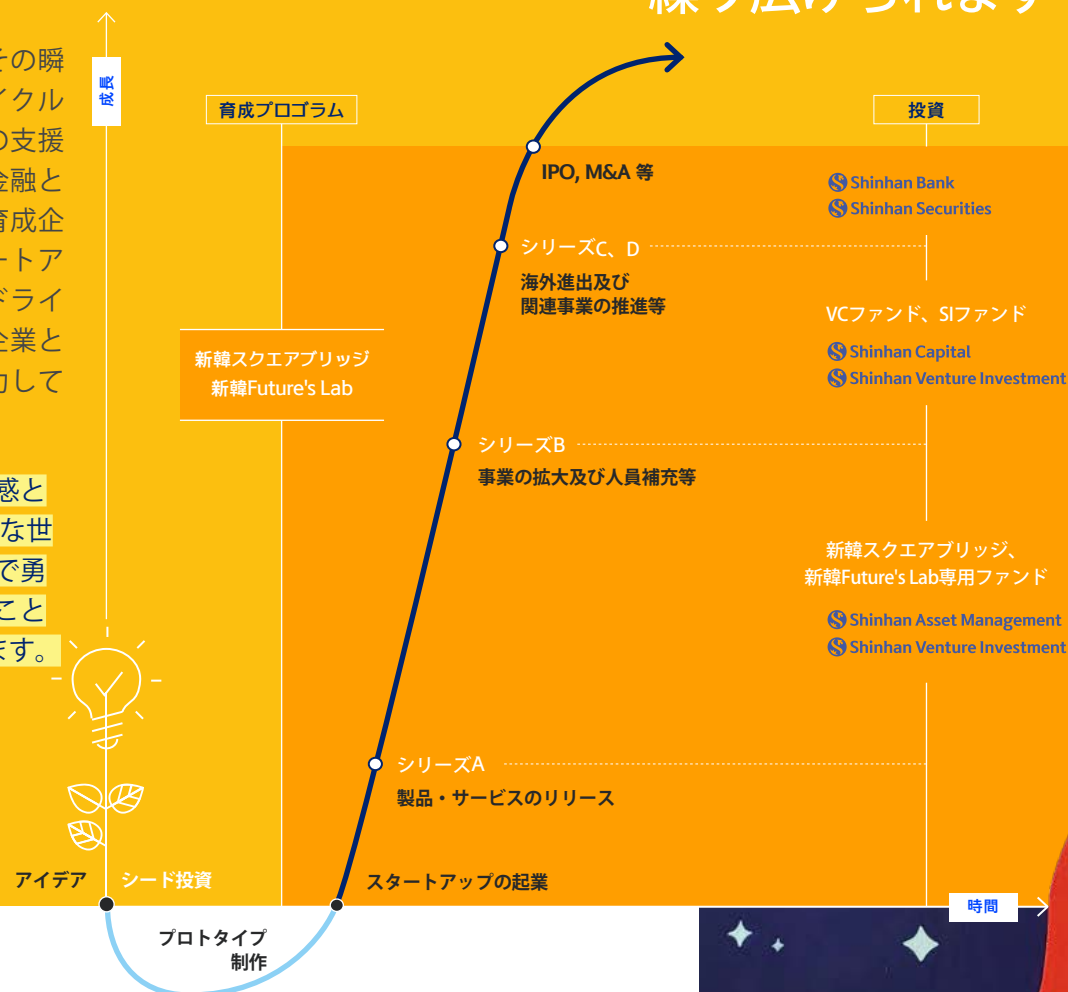
ESG Wayがたどり着くところ、 そこには共感と共生の 新しい金融のエコシステムが 繰り広げられます

スタートアップは世の中をより良い方向に変化させるチャレンジャーです。スタートアップの挑戦は成長の段階によって、起業から製品・サービスのリリース、拡張と変化の時期を経て企業の価値を高めていくJ字型のカーブを描きます。各段階によって挑戦と機会の要素が異なるため、適切に戦略を変えながら成長のあり方を模索する必要があります。

スタートアップの
ライフサイクル別の支援

革新的なアイデアの種から起業の芽が出るその瞬間から、新韓はスタートアップのライフサイクル全体をサポートし、成長を支えます。新韓の支援は投資から育成プログラムにいたるまで、金融と非金融の両方を網羅する形で行われます。育成企業を選定する際にESG要素を反映し、スタートアップのESGのレベルを評価するためのガイドラインの作成を推進するなど、ESGへの投資が企業と社会の両方に有益な基準になれるように努力しています。

新韓が主導するベンチャーエコシステムは共感と共生の金融エコシステムです。今後も、新たな世の中をつくるための支援と投資を続けることで勇気のあるチャレンジャーらとともに、歩んだことのない道に向かって力強く第一歩を踏み出します。





全ての構成員が互いの違いを受入れ、認め合い、多様な人材に公正な機会を与える企業文化は、正しい企業運営の尺度です。これはまた、速やかに変化する環境に適応する力でもあります。

新韓金融グループは多様性を機会と認識し、女性リーダーの育成に注力しています。2030年に女性役員15%、女性部署長25%を達成するというチャレンジングな目標を設定し、「新韓シーローズ (SHeores)」をはじめ、様々なプログラムと制度を通じて目標に向かって進みます。「新韓の女性ヒーローたち」という意味が込められている新韓シーローズは、韓国の金融業界初の女性リーダーの育成プログラムであり、2018年から2022年まで合計221人に達する女性人材の頼もしいサポーターになりました。また、2022年にはデジタルやICT分野の女性リーダーのためのWIT (Women in Tech) を新設し、専門性を強化しました。

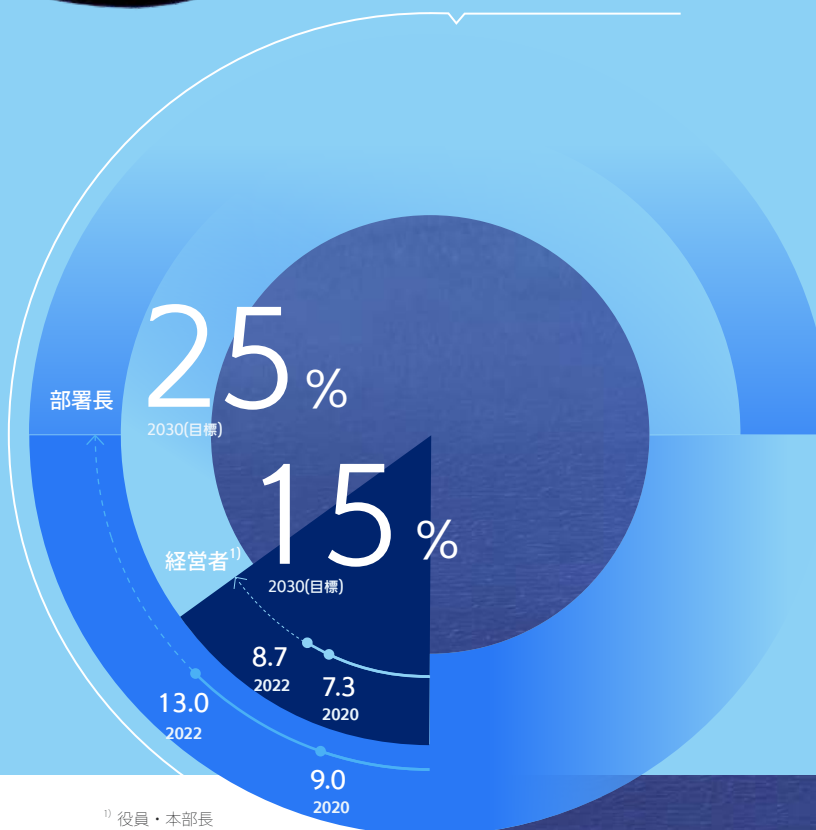
新韓の企業文化は多様性の土壌に根を下ろしています。1982年の新韓銀行の設立当時の創立メンバーは、既存の都市銀行の多様多種の組織から来た様々な職級の人々でした。それぞれ異なるバックグラウンドで積み上げてきた経験を尊重し、その強みを発揮してきており、これは現在の新韓のコミュニケーションと協力の文化をつくりあげる土台となりました。

多様性という違いを基に、誰にでも能力を発揮する機会を与える新韓の企業文化は、企業の成長ばかりでなく社会の持続可能な発展を牽引する新韓ならではの違いです。

FAIR PLAY

フェアプレイを 中心的原則として ESG Wayに託された 価値を守ります

女性リーダーの現状と目標



¹⁾ 役員・本部長

* 2022年末の人事を反映、

対象：持株会社/銀行/カード/証券/ライフ/キャピタル/資産運用/済州の8社



2

ESG ACTION

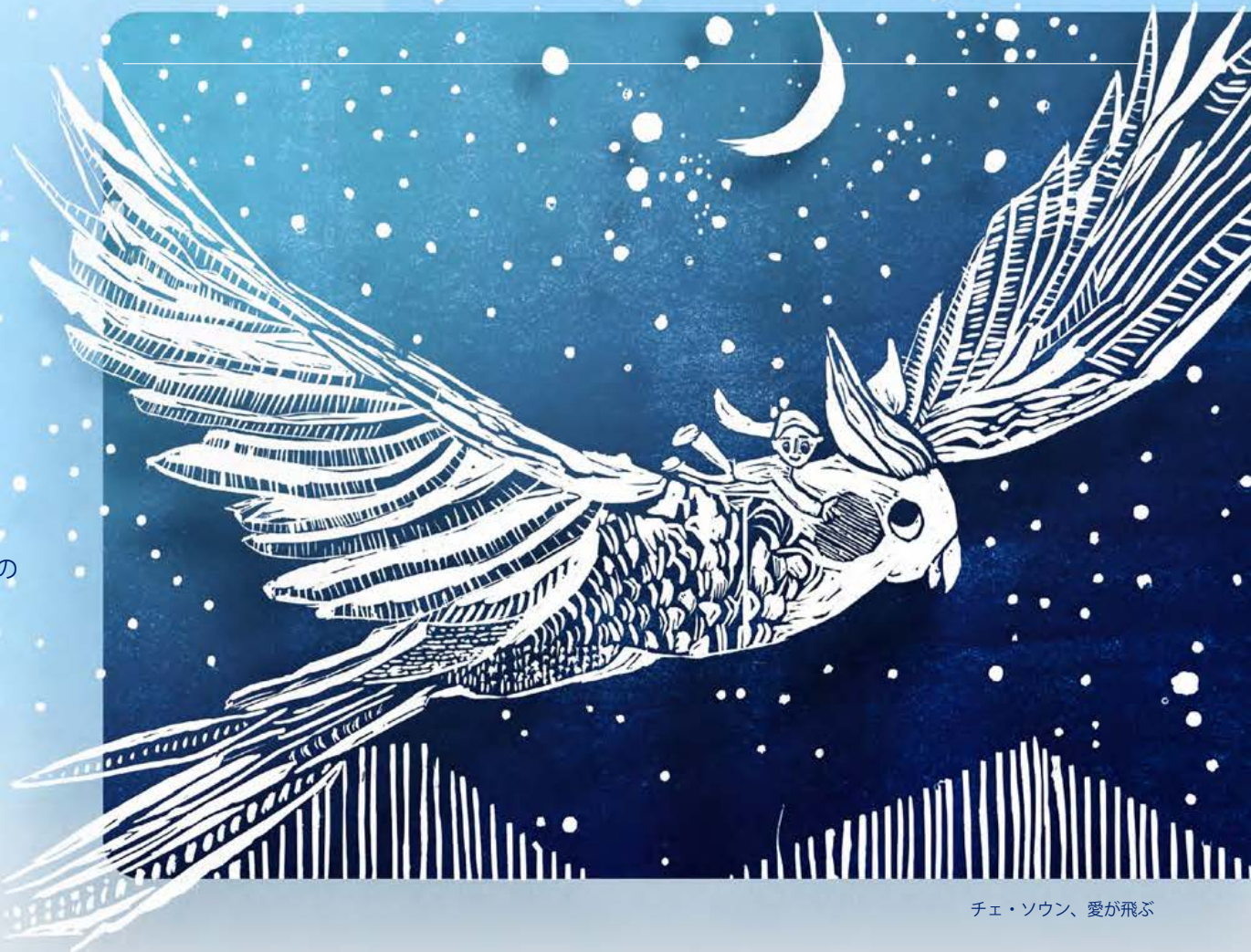
善い影響力の翼を広げます

新韓にとってESG経営は常日頃の基準です。

当然取り組むべきミッションです。そのため、新韓は善い影響力のための金融の役割を常に新しく解釈し、毎日ブラッシュアップしています。

グリーン金融の役割を見直し、隣人の困難を全力で助け、スタートアップの勇気に温かい支援と体系的な実行で応えます。

また、多様な人々がそれぞれの声を出ことができるように、誰にも公平な機会が与えられるように、ESGの翼を提供します。ESGを実行することで、一段と素晴らしい世界に向けて羽ばたくことで、新韓の善い影響力はより広く、より深く広まります。



チェ・ソウン、愛が飛ぶ

〇〇〇



2022 新韓ESGの正・早・異

2022 ESG ACTION: 新韓ESG9大ニュース

GREEN

NEWS 1

Financed Emissionsの測定システム構築

NEWS 2

ESG評価モデル開発

NEWS 3

グリーン金融のリーダーシップ強化



2022新韓ESG9大ニュース - Green

BRAVE

NEWS 4

中小企業向けのESGコンサルティング

NEWS 5

新韓トンヘン（同行/同幸）プロジェクト

NEWS 6

持続可能なベンチャー・エコシステム構築



2022新韓ESG9大ニュース - Brave

FAIR

NEWS 7

多様性・公平性・包摂性（DEI）の価値を拡大

NEWS 8

社会的価値の測定及び成果評価

NEWS 9

人権経営の強化及び人権尊重文化の定着



2022新韓ESG9大ニュース - Fair

新韓が追求するコア価値である「正しく、早く、異なる」取り組みは、韓国社会の持続可能な成長と軌を一にするものです。2022年に新韓金融グループはステークホルダーがより多いESGの体験を享受することができるよう、ESGの実行を本格化しました。有機的に構築された盤石なESG推進体制を土台として、2022年のESG戦略の方向である「新韓 正・早・異」というモットーのもとで取り組んできた「新韓ESG9大ニュース」を紹介します。

新韓ESG9大ニュース

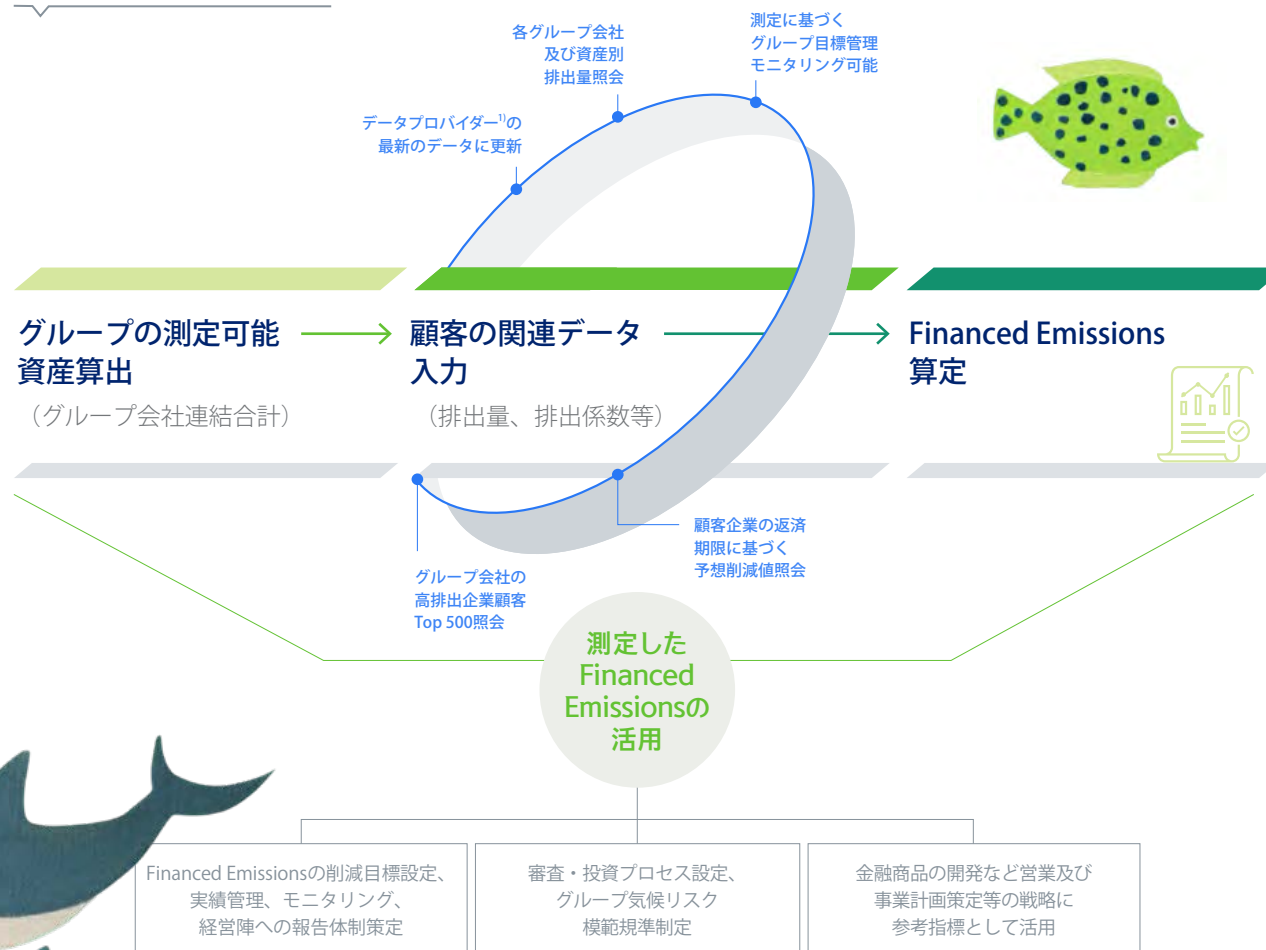
ESG NEWS 1

Financed Emissionsの測定システム構築

経営学の父とも言われるピーター・ドラッカー氏の名言はESG経営にも当てはまります。ESGの成果の価値を客観的に数値化して透明に公開してこそESG経営の一貫性と誠実性を確保することができるからです。

新韓金融グループはカーボンニュートラルの実現に向けて、Financed Emissionsの測定・分析はもとより、戦略の策定から実行にいたるまで、全部門における体系的な管理を可能にするシステムを開発しました。2022年に新韓が韓国の金融機関のうち初めて開発した「Financed Emissions測定システム」は金融向け炭素会計パートナーシップ（PCAF）の温室効果ガス会計基準に基づいて、グループの投融资ポートフォリオを6つの資産群に区分し、Financed Emissionsを精密に算定し、周期的にモニタリングすることができるシステムです。2022年11月末現在、248.6兆ウォンの金融資産による排出量を測定しており、測定資産の範囲を次第に拡大する計画です。こうした取り組みは新韓のESG競争力の強化と実行力の向上につながることでしょう。

Financed Emissions測定システムの運営プロセス



測定できないものは
管理できない、管理できないと
改善することはできない

ピーター・ドラッカー

¹⁾ 信用格付機関や環境部等に開示される企業別の炭素排出量を最新資料に更新

ESG評価モデル開発

新韓のESGの取り組みには「初」という言葉が多くついています。企業のESGの取り組みを投融資等の判断に活用する自社の評価モデル開発も韓国の金融グループ初の取り組みです。

新韓金融グループは2017年に策定した「環境・社会リスク管理体制」のロードマップに基づき、2022年に「ESGの評価モデル」を開発しました。これは、投融資の環境・社会 リスクを評価し、留意セクターを管理する従来の仕組みを基に、投融資の審査プロセスでESGに配慮するために開発された新韓固有のESG評価モデルです。評価モデルを用いて算出された格付は、新韓銀行の「新韓ESG優秀共生支援融資」の対象を選定する基準等として利用され、企業のESGの取り組みを促し、今後その適用範囲を広げることとで、一緒に取り組むESGの実践をさらに加速化していきます。

新韓ESGモデルの評価項目

評価項目

E

S

G

環境成果

エネルギー
_電気
エネルギー
_電気以外
環境コスト

環境経営

認証
事業モデル

人的資源の管理

雇用安定
福利厚生
教育訓練

サプライチェーンの管理

共に成長

安全管理

重大災害

社会貢献

寄付
投資

株主

株主の権利

組織構成

経営の安定性

経営

経営の透明性
企業の信頼度

新韓ESGモデルの利用について

評価格付や
評価項目を利用し、
金利等を優遇する
商品開発

「新韓ESG優秀
共生支援融資」の
対象選定における
基準として活用

極度付与の優遇及び
CE (Credit
Exposure、信用
エクスポージャー)
の枠設定

専決権及び
極度設定等の
審査プロセスに
反映

一緒に取り組むESG、
その理解と実践による
もう一つの「初」

グリーン金融の リーダーシップ強化

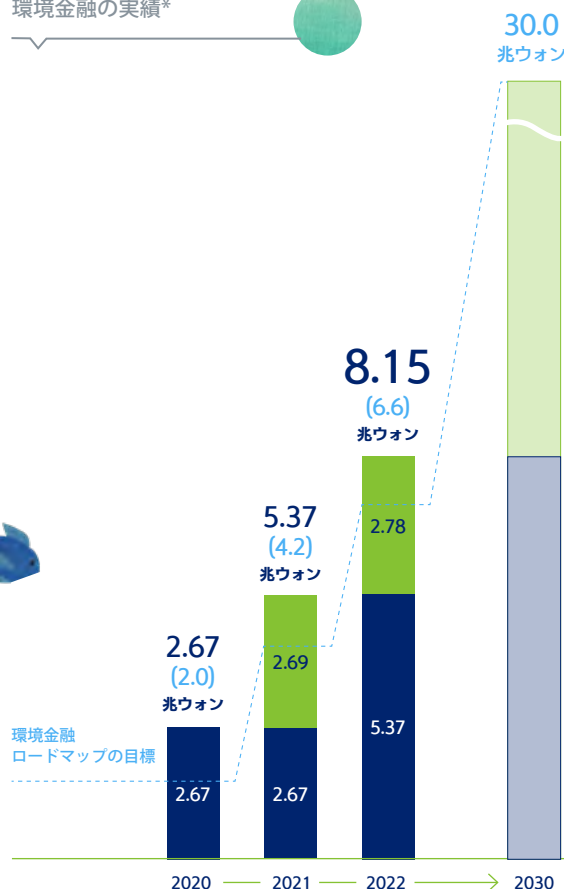
記録的な猛暑や豪雪等のニュースが絶えず、全世界は気候危機を肌で感じています。いつものような日頃の生活や安全な未来を守るためには、経済・社会・事業の全般にわたるカーボンニュートラルが必要であり、韓国をはじめ世界の130か国余りがカーボンニュートラルの取り組みに参加しています¹⁾。

新韓は金融をもってカーボンニュートラルへの大転換を準備します。「Zero Carbon Drive」戦略に基づき、2050年カーボンニュートラルの達成を目標に、投融資による炭素排出量を相殺できる環境事業と技術への支援を拡大することで、低炭素経済への移行を牽引しています。気候変動ソリューション、クリーンエネルギー、環境技術等の気候分野に投資する「気候ファンド」の組成を積極的に推進しており、2022年に新韓資産運用が組成し、新韓金融グループが投資した「新韓グリーンウェイ企業投資1号」で500億ウォンを運用し、韓国型のグリーン分類基準である「K-タクソノミー」の活性化に貢献しました。さらに、気候変動に対応・適応する技術である「気候テック」を保有する企業に投資するグローバルファンドに投資し、グリーン成長に向けたパートナーシップとリーダーシップを強化しています。

¹⁾ 出所：カーボンニュートラルの状況を追跡するグローバル研究コンソーシアム「ネットゼロ・トラッカー」のウェブサイト

グローバルなグリーン金融の 波に乗って世界に進出する Zero Carbon Drive

環境金融の実績*



* 2020年から累計の環境投融資金額

2022年の主なグリーン投資の成果

新韓グリーンウェイファンドの組成

再生可能エネルギー、サーキュラーエコノミー（循環経済）、エコ建築などのカーボンニュートラル関連企業に投資し、ESG産業のエコシステム構築に貢献するために、新韓がグループレベルで運用するファンド（500億ウォン投資）

国内外の環境エネルギー及び気候テック関連のファンドや企業への投資



CI Energy Transition Fund, CI Advanced Bioenergy Fund

デンマークのエネルギーインフラ専門の資産運用会社であるCopenhagen Infrastructure Partners社の低炭素の環境エネルギー施設に投資するファンドであり、韓国の金融機関初のグリーン水素に特化したファンドへの投資（各々2,500万、1,300万ユーロを投資）



General Atlantic Beyond Net Zero Fund

世界の成長企業に資本や戦略的支援を提供する米General Atlantic社が組成した気候テック投資ファンド（2,000万米ドルを投資）



スマイルゲート・インベストメント社の グリーン成長ファンド

廃棄物を減少させて省資源を可能にする技術など、環境産業を営む企業に投資するファンド（40億ウォンを投資）



Ascend Elements

電気自動車の廃バッテリーをリサイクルする米国の企業の転換優先株を取得



CASE

Green Growth

近年、気候危機が重要な課題として浮上し、グリーン成長は選択の問題ではなく、全世界が一緒に対策を講じ、推進すべき課題となりました。新韓はこうした時代の流れに先頭に立って取り組んでいきます。特に、グリーン成長を牽引する環境産業のエコシステムを活性化するためには、金融を通じた資金供給が必要であるため、新韓は大きな責任感をもって将来のための技術に投資しています。



Beyond Recycling

廃バッテリーをリサイクルする企業への出資

内燃機関車を代替する電気自動車市場の成長が加速化しています。化石燃料の使用が減るのは望ましいことですが、電気自動車に使用された廃バッテリーをどのように処理すればいいのかも考える必要があります。

そこで、世界的に廃バッテリーのリサイクル技術及びインフラを確保するための投資が拡大しているなか、2022年に新韓GIBは単なるバッテリーのリサイクルではなく、高付加価値のアップサイクリングが可能な革新的技術を保有している米バッテリー企業のAscend Elements社に約110億ウォンを投資し、モビリティ・エコシステムの環境への貢献に参加しています。



Powered by Hydrogen

グリーン水素生産事業コンソーシアムへの参画

水素経済は、水素を主なエネルギー源として使用する経済・産業構造です。水素は枯渇する化石燃料とは異なって無限に供給され、また、炭素を全く排出しない環境にやさしいエネルギーです。

水素が我が社会の環境にやさしいエネルギー源になれるよう、新韓銀行は2022年、コンソーシアム¹⁾を構成してオーストラリアのクイーンズランド州政府とグリーン水素²⁾量産のパイロットプロジェクトに関する業務協定を締結しました。今後、実証化の段階では金融ソリューションを提供する予定であり、コンソーシアムとともにクリーン水素生産の有望国であるオーストラリア市場の開拓を推進し、水素経済の実現に貢献していきます。

¹⁾ 新韓銀行、韓国中部発電、LSエレクトリック、イジス資産運用、エレクトロニクスで構成

²⁾ 二酸化炭素を排出しない再生可能エネルギーで生産した水素



From Waste to Energy

バイオ燃料プラント開発ファンドへの投資

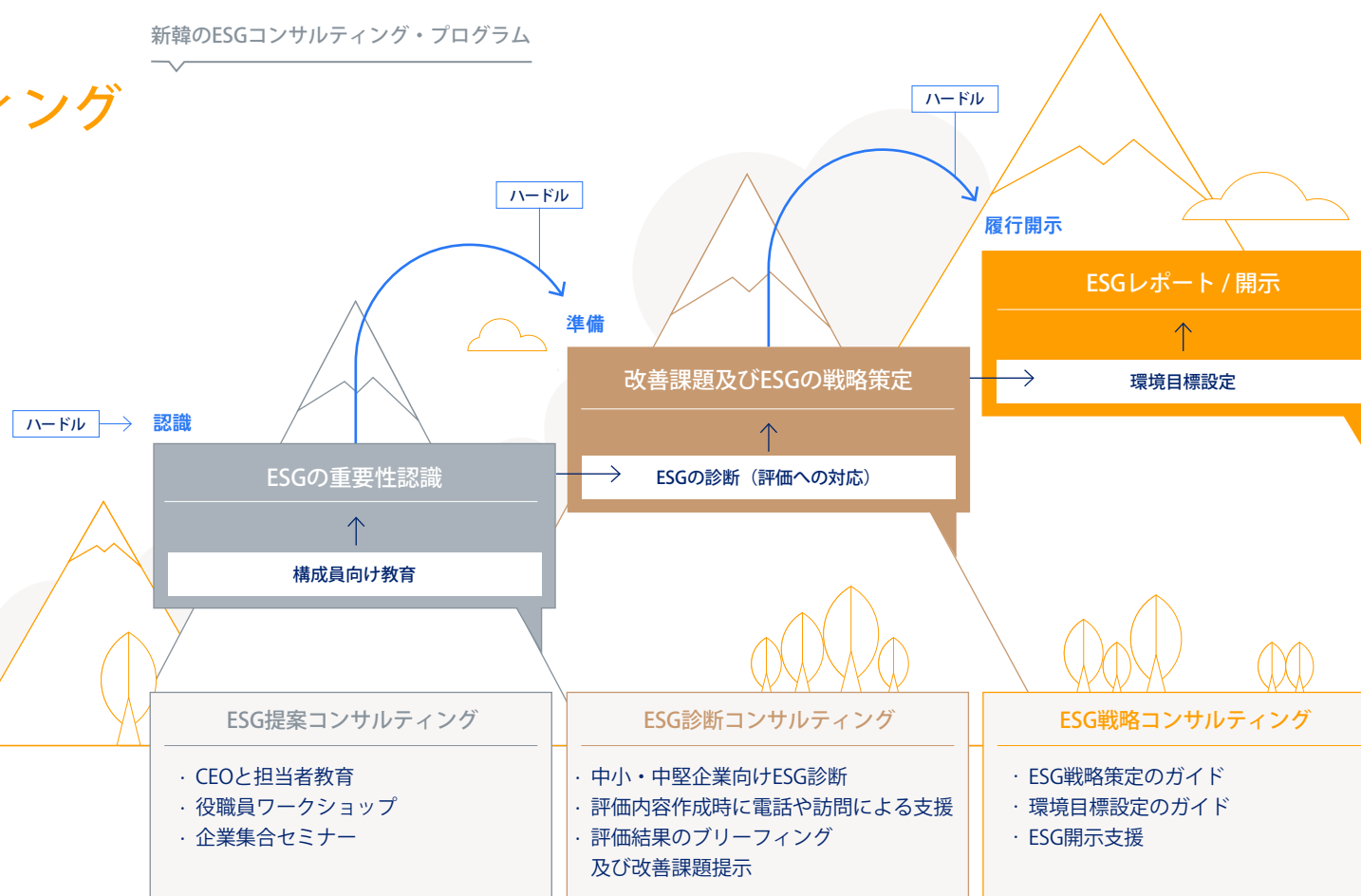
バイオ燃料はバイオマスから得られる再生可能エネルギーです。農業廃棄物や生ごみのような有機性廃棄物を利用し、廃棄物の処理で発生する炭素排出を相殺する低炭素エネルギー源です。

ESGへの金融支援のために新設したグリーンIB推進Lab.を通じて、2022年にオランダのエネルギーインフラ専門の資産運用会社であるCopenhagen Infrastructure Partnersが組成したバイオ燃料生産プラント開発ファンドに約178億ウォンの投資をコミットし、次世代のエネルギーインフラ構築に向けた金融の役割を果たしました。

中小企業向けの ESGコンサルティング

新韓のESGコンサルティング・プログラム

DO THE
BRAVE
THING

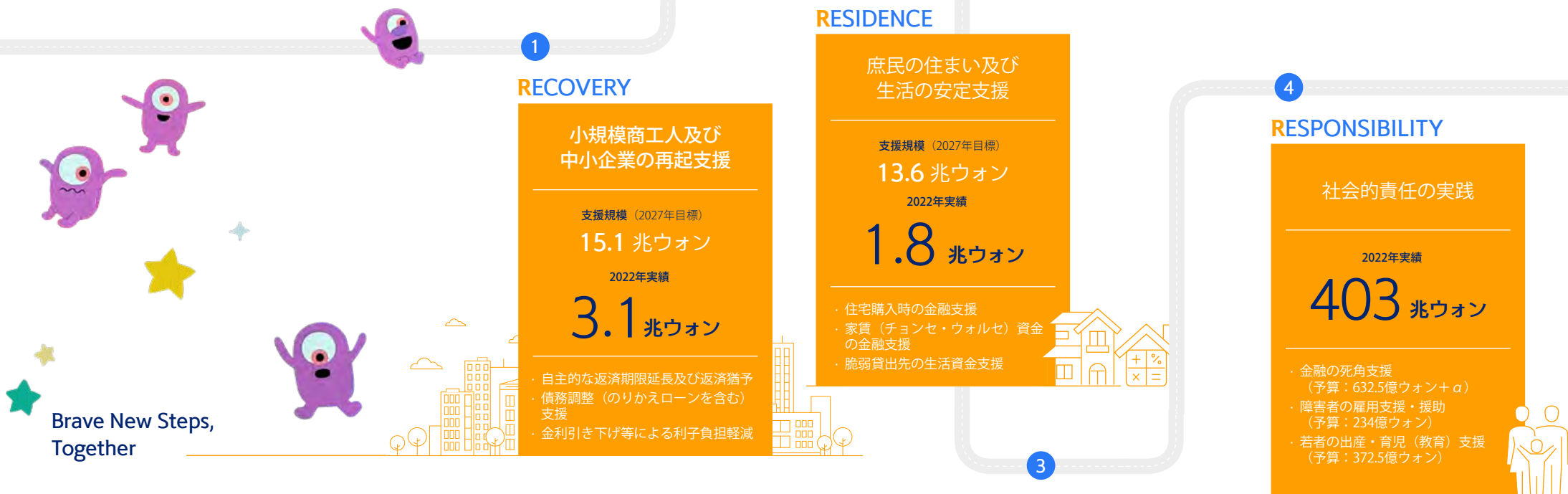


持続可能な社会に向かうESG Wayは長いレースです。また、全世界的な連帯と協力、責任が要求される大胆な挑戦です。新韓銀行が企業のお客さまのESGを支援するための「ESGコンサルティングCell」を立ち上げた理由はそこにあります。

2022年に新韓はESGコンサルティングCellを通じて115社のお客さまに会いました。ESG経営の必要性は認識していながらも、どこから始めればいいのか戸惑っている中小・中堅企業にESGを提案して教育を提供し、より良いESG経営の実践を希望する企業を対象にESGの診断・評価サービスを提供しました。ほかにも、サプライチェーンのESG評価への対応、炭素削減目標の設定、炭素排出量の測定、サプライチェーンに対する実地調査、国際イニシアチブへの加盟、ESGの開示等に関するコンサルティングを提供し、ESG経営戦略の策定から実行に至るまでの全プロセスをサポートしました。今後も新韓は、ESGのコンサルティング機能を拡大し、企業のお客さまとともに2050年にカーボンニュートラルを達成します。まだ歩んだことのない道ですが、志を集め、誠実に取り組み、最後まで一緒に完走します。

新韓トンヘン（同行/同幸）プロジェクト

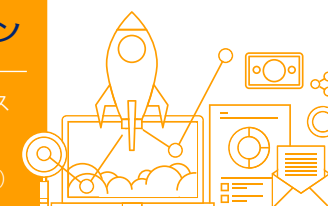
新韓トンヘン（同行/同幸）プロジェクトの構成



Brave New Steps,
Together

ESG経営の第一歩は、周りに手を差し伸べることです。今我々は、コロナ禍の被害から回復していない中、国内外の政策金利の引上げやインフレの影響で、経済的困難が加重しており、挑戦に直面しています。そこで、新韓金融グループは小規模商工人、若者、庶民のような経済的な余裕のない脆弱層への実質的な支援となる「新韓トンヘン（同行/同幸）プロジェクト」をローンチしました。

このプロジェクトは、小規模商工人と中小企業の再起を支援する「1. Recovery」、庶民の住まい及び生活の安定を支援する「2. Residence」、起業・雇用の支援と若者の飛躍を支援する「3. Re：Start-Up」、社会的責任を意味する「4. Responsibility」の「4つのコア領域（R4）」で構成されており、4Rの12のコア課題に対し、今後5年間合計33.3兆ウォン規模の金融支援を行う計画です。一緒に行くという「同行」、一緒に幸せになろうという「同幸」の意味が同時に込められているトンヘン・プロジェクトを通じて、新韓は善い影響力を届けたいと思います。さらに、脆弱層の経済力の弱まりが国の経済活力の低下につながることを防ぎ、大韓民国の金融システムの安定性を強化することで、経済の持続可能な発展に貢献してまいります。



持続可能な ベンチャー・ エコシステム構築

Brave New World for
Startups

ベンチャー企業の育成及び投資

スタートアップ育成の両輪



デジタルとフィンテックを中心とした
スタートアップのスケールアップ支援
プログラムであり、韓国、ベトナム、
インドネシア、日本圏で運営
及びシリコンバレーへの進出支援

新韓FUTURE'S LAB

2015年5月発足

333 社育成



スタートアップの総合育成
プログラムであり、全国5つの圏域
(ソウル・仁川・大邱・大田・済州)
及びベトナム圏域で運営

新韓スクエアブリッジ

2020年9月発足

479 社育成

合計 812 社

ベンチャーエコシステム形成
専用ファンド

事業ライン別のAUM



新韓キャピタルのOne新韓Future'sファンド

4,232 億ウォン

新韓ベンチャー投資のVCファンド

13,953 億ウォン

新韓資産運用の起業ベンチャーファンド

6,810 億ウォン

合計

2兆 4,995 億ウォン

新韓は金融と非金融を網羅して、スタートアップの全ライフサイクルに伴走し、新韓が主導するベンチャーエコシステムを構築していきます。「新韓スクエアブリッジ」と「新韓 Future's Lab」は新韓のスタートアップ育成の両輪です。「新韓スクエアブリッジ」はスタートアップ育成のプラットフォームであり、2020年からソウルをはじめとする主要都市に設置してスタートアップエコシステムの拡大を牽引しています。2022年12月末現在、479社のスタートアップを育成し、2,997億ウォンの投資誘致を支援し、1兆1,160億ウォンの企業価値を増大し、4,621人の雇用創出・維持をサポートしました。韓国の金融機関初のスタートアップのアクセラレーターである「新韓 Future's Lab」では、2015年の第1期から2022年の第8期まで合計333社のスタートアップを育成し、736.5億ウォンの投資を行いました。

金融の本業によるスタートアップへの投資は、投資企業とともに成長する新韓の差別化された力です。2022年には新韓スクエアブリッジと連携した「新韓スクエアブリッジESG投資組合第1号」ファンドの330億ウォン等を組成し、12月末現在の新韓金融グループの主要 VC（ベンチャーキャピタル）ファンドの運用資産（AUM）は2兆4,995億ウォンに達します。ほかにも、2021年に韓国の金融機関で初めて組成したデジタルSI（戦略的投資）ファンドで、2022年末現在6,000億ウォンを運用し、新技術投資を牽引しています。今後も、金融と非金融の境界を乗り越えた幅広い支援を通じて、挑戦する人々と伴走し、革新と共生のベンチャーエコシステムを形成していきます。

CASE

Brave Challenge

革新の種をまいた起業初期の企業がスタートアップ・エコシステムの大木に育つことができるように、韓国のスタートアップがグローバルという新しい世界に飛び立つことができるように、新韓はスタートアップのビジネスのライフサイクル全体を支援します。新韓が主導するベンチャーエコシステムは、革新と共生の場です。世の中になかった、しかし、世の中が必要とするアイデアを新韓とともに、革新に導いているスタートアップの話を紹介します。



ESGを加え、 価値のある成長を遂げます！

LDC（エルデーカーボン）
新韓スクエアブリッジ大邱第1期

「エルデーカーボン」の英語の社名であるLDCには「人と地球の持続可能な営みのための炭素資源の循環（Life re-Defined Carbon）」という意味が込められています。人と地球を同じように考え、経済的な価値と環境の価値の両方を創出する資源の循環に対する探求がLDCの始まりですが、これを分かってくれたのが新韓です。

2022年に「新韓スクエアブリッジ大邱」の環境インキュベーション第1期に選定され、専門家のメンターから正に必要としてサポートを受け、20億ウォンの投資という驚きのプレゼントもいただきました！LDCに投資したESG戦略ファンドの価値が輝かしいものになれるよう、一層価値のある成長を目指します。



着実なコミュニケーションと協働が 最高の支援でした！

ホームズカンパニー
新韓 Future's Lab 第6-1期

「新韓 Future's Lab」は選定された企業の成長の歩みに共感し、応援する頼もしい助力者です。「ホームズカンパニー」は、2020年に新韓 Future's Lab の育成企業に選定されて以来、単身世帯の住まいのエコシステムづくりに集中しているホームズカンパニーの差別性を広くを知らせるために多くの支援をしてもらい、2022年に新韓銀行と業務協定を結び、新しくローンチした新韓 Future's Lab 日本とともに日本に進出する機会も与えられました。

ユニコーン企業への仲間入りを期待している今も、継続的なコミュニケーションと支援を約束してもらいました。今後、新韓とともにベンチャーエコシステムの拡張・連携に力になっていきたいと思っています。



投資と協働により、デジタルのエコ システムをとともに拡大していきます！

ギャラクシーコーポレーション
One新韓コネクテッド新技術投資組合第1号

新韓とのパートナーシップは斬新です。2021年10月「ギャラクシーコーポレーション」が新韓金融グループのデジタル戦略的投資（SI）ファンドの投資先として選定されたことに続き、早速、新韓銀行・新韓キャピタルと戦略的な業務協定を締結したことが特にそうです。これは新韓がスタートアップを単なる投資先ではなく戦略的なパートナーと考えているからではないかと思います。

芸能人のサブキャラを利用したメタバース企業であるギャラクシーコーポレーションとの協働が長い目で見た投資であることも意味深く感じられました。この機会を生かして、力を合わせて新たなユニバースであるデジタルエコシステムを拡大していくことを期待しています。

多様性・公平性・包摂性（DEI）の価値を拡大

新韓金融グループは多様性・公平性・包摂性（DEI）を企業戦略の重要な柱と認識しており、これは新韓のミッションである「未来を共にするあたたかい金融」を支えるコア価値でもあります。2022年には二度目のダイバーシティレポートを発行してステークホルダーと引き続きコミュニケーションし、国籍の多様性に関する指標も新しく設けました。また、資本市場の発展及びコーポレートガバナンスの改善に向けた情報交流の場である国際コーポレート・ガバナンス・ネットワーク（ICGN）のソウルカンファランスと国連グローバルコンパクト（UN Global Compact）のジェンダー平等フォーラムに参加し、新韓のDEIの取り組みを紹介し、普及に向けた計画を公表しました。

今後、新韓はDEIの取り組みを拡大しながら、同時に関連指標を綿密に管理し、公開することで、新韓ならではの力でみんなに公正・公平な素晴らしい世の中をつくっていきます。



ESG Q&A

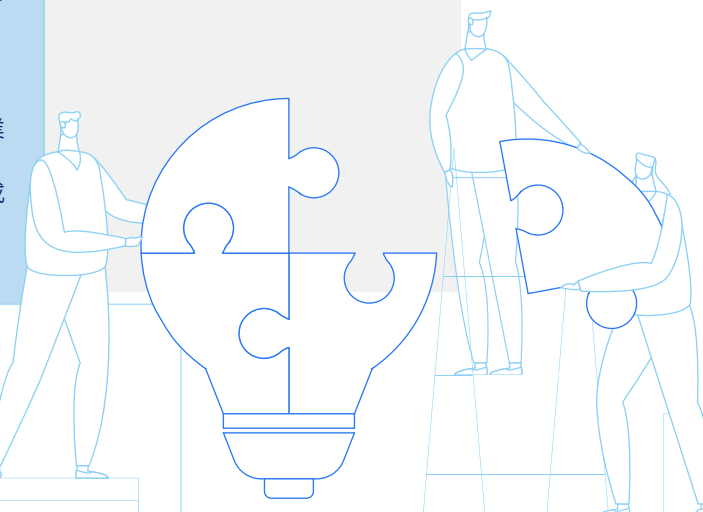
「DEI」が重要である理由は何ですか？
新韓はどのように管理していますか？

新韓は「ダイバーシティ&インクルージョン－新韓金融グループのコミットメント」を策定し、DEIの価値拡大に対する決意を表明し、引き続きその実行に取り組んでいます。

また、より多いステークホルダーの関心が集まり、一貫して調和された方向にDEIが拡大するように、DEIの価値を発信することにも積極的に取り組んでいます。

多様性（Diversity）・公平性（Equity）・包摂性（Inclusion）を意味するDEIは、偏見のない社会をつくるための取り組みです。ESG経営の拡大と同時に、DEIをコア成長戦略と統合する企業が増えています。

これは公正・公平な機会が与えられる企業文化は、優秀人材の誘致を可能にし、企業の評判を改善するなど、非財務的な成果にも影響を及ぼすからです。



DO THE
FAIR
THING

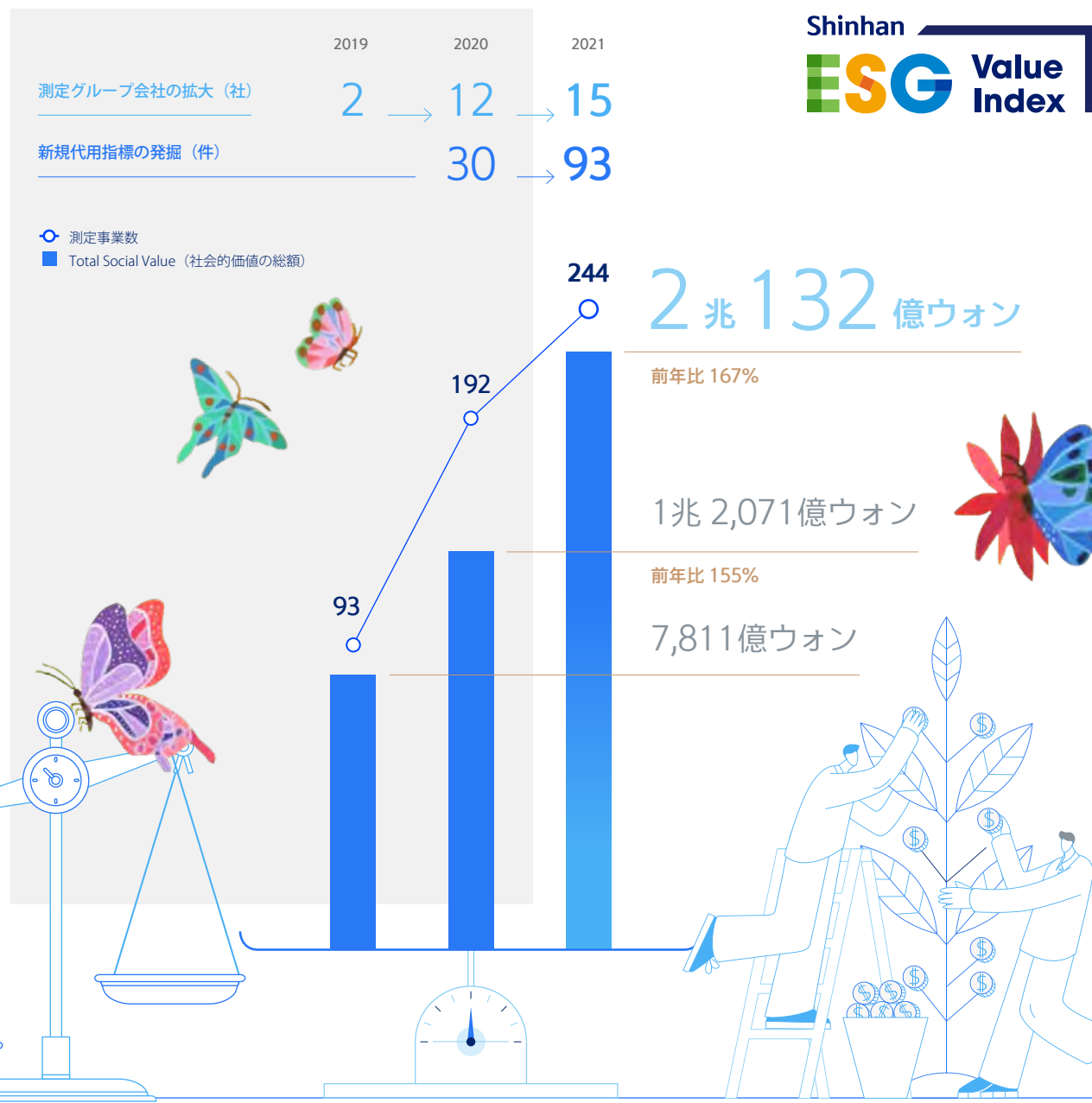
社会的価値の測定及び 成果評価

社会的価値の創出と測定はESG経営の重要なバロメーターです。財務的な価値と異なって計量化が困難であり、経営指標に適切に反映できなかったのですが、近年、サステナビリティ経営に対する関心が高まっており、限られた資源でより多い社会的価値を創出するためには、計量化された価値の測定と評価が必要という声が高まっています。

新韓金融グループはこうし意見を反映し、延世大学のESG・企業倫理センターとともに、**2019年のESG活動の効果を金額換算価値で測定する「新韓ESG Value Index」を開発しました。**その後、測定の対象及び代理（Proxy）指標を拡大して測定の仕組みを精緻化しており、投資家や評価機関が注目する地域コミュニティと共に成長するという観点で、測定事業の分類カテゴリーを更新しました。

2021年15社のグループ会社を対象に測定した社会的価値は、合計2兆132億ウォンであり、これは244事業を通じて生み出された価値です。新韓ESG Value Indexを通じて把握された現在の社会的価値は、将来のより大きな価値を生み出すための改善の基準となります。今後とも新韓は、社会的価値の創出はもとより、創出された価値の正確な測定と管理を通じて、社会的価値を高めていきます。

社会的価値の変化の推移



人権経営の強化及び人権尊重文化の定着

企業は社会が直面している課題を解決する主体としての役割と責任があります。人権問題も例外ではなく、「国連ビジネスと人権に関する指導原則（UNGPs、UN Guiding Principles on Business and Human Rights）」等の国際的な原則とガイドラインに基づく人権経営が求められています。

新韓金融グループは、構成員をはじめとする全てのステークホルダーの人権を尊重し、保護します。2014年に人権宣言書を制定し、UNGPs原則の実践に取り組んでおり、2022年には「国連指導原則の報告フレームワーク（UN Guiding Principles Reporting Framework）」に沿って作成された人権報告書を発表し、2011年に制定したグループの倫理綱領を改定しました。

新韓銀行は2022年、人権経営体制構築のためのマニュアルである「人権経営システム指針」を制定し、これを土台として、国際イニシアチブの中心的な内容を反映し、新韓銀行に最適化された人権経営体制を構築しました。そして、韓国の商業銀行として初めて第三者による人権アセスメントを行い、その結果をウェブサイトに公開しました。人権デューデリジェンスを通じて当行の人権経営の現状を把握し、改善すべき点を特定しました。これらは全ての過程で、ステークホルダーの視点を持つことを心がけました。今後とも新韓は、人権に配慮した文化が新韓の強みとして定着するように、ステークホルダーの視点で考え、大胆に実行に移します。



ESG PERSPECTIVES

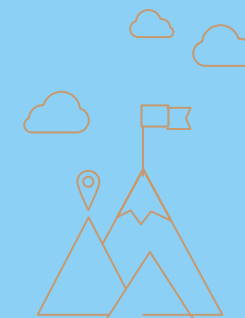
新韓はなぜ ESGを未来として 選んだのか？

100年新韓の答えがESGにあるからです。
ESG経営は企業が生き残るためには欠かせない変化であり、
これを推進するにおいて最も重要なことは、
社会に必ず必要な存在になることです。

ESG実行の元年である2022年に
「正しく、早く、異なる」取り組みを行ってきた新韓。
変化のど真ん中で、ESG文化の拡大に誠実に取り組む
グループ会社のESG担当部署長の率直な意見を聞いてみました。

Q1

2022年のESGの実行において
グループ会社ならではの重点的な
推進事業を教えてください。



Q2

ESGが正しい選択であると
感じたのはいつですか。



Q3

今後も続けていく
ESGの歩みに対する
覚悟と目標を聞かせてください。



Q1 2022年のESGの実行においてグループ会社ならではの重点的な推進事業を教えてください。

A1

「お客さまと社会の価値を高めるESGのリーディングバンク」というビジョンのもと、ESGのガバナンス体制を強化しました。ESGのコントロールタワーであるESG企画室とESG本部を新設し、本部の部署長を対象とするESG運営委員会、全ての経営陣が出席するESG経営委員会、CEOと社外理事全員が所属するESG委員会といった、段階別の統合意思決定体制を韓国の商業銀行で初めて構築し、ESG経営を拡大しました。

新韓銀行 ESG企画室長
パクジョンジン



A1

2022年に新韓カードは、事業に基づく差別化されたESGの実行に注力しました。業界で初めて試みた消費者視点の炭素排出量の算定サービスである「新韓 Green Index」を通じて、お客さまと一緒にカーボンニュートラルの実践を続け、ビッグデータを利用してデータ確保が困難な者にデータを支援する共生プログラムを展開しました。こうした取り組みは持続可能な将来を先導する新韓のESGの歩みに新たな方向を示すと思います。

新韓カード ESGチーム長
キム・ゴン

A1

様々なESG活動の中で最も本業を活かした活動は、炭素排出権市場への参入を挙げることができます。2022年初旬に自己売買市場への参加をはじめとして、12月には炭素排出権のマーケットメーカーに選定され、市場の拡大に備えて土台を築きました。また、企業のESG担当者を対象にESGフォーラムを開催し、今後、様々なテーマのイベントを通じて、資本市場におけるESGの代表証券会社というイメージを盤石にしていく計画です。

新韓投資証券 ESG企画チーム長
チェ・ヨンスン

A1

ESG経営の実践において、社会に善い影響力を広め、共有することは非常に重要です。これが新韓ライフがお客さまをはじめとする多様なステークホルダーが日頃の生活の中でESGの価値を経験することができるESGブランディングを進めている理由です。2022年にはESGに関する音源とミュージックビデオのリリースや若者向けのYoutubeコンテンツ制作などで、ESGの価値を発信しました。

新韓ライフ パート長
ムン・ジョン

A1

新韓キャピタルは2022年をESG実行の元年として、基本的な体制構築に注力しました。ESG委員会を新設し、環境金融の実績を高めるために評価及び報酬体系を見直し、ESGが仕事ではなく重要な価値として受け入れられるように、役職員向けの様々な教育を実施しました。また、会社と社会の両方の革新的成長のためにベンチャー投資の運用資産（AUM）を拡大した結果、累計AUM4,000億ウォンを達成する成果を上げました。

新韓キャピタル 戦略企画部長
ムン・ミョンギョン

A1

GHG排出量の情報を投資の際に意味のある指標として利用するために、データの構成と蓄積に注力しました。今後、開示資料を通じてデータを確保し、さらに、カーボンニュートラルに関する株主レターを送り、追加して必要なデータを各企業から集め、GHG排出量のデータベースを構築する計画です。このように測定可能な指標を用いて新韓資産運用独自のESG評価モデルを高度化していきます。

新韓資産運用 ESG戦略チーム長
ソン・テヒョン



Q2 ESGが正しい選択であると感じたのはいつですか。

A2

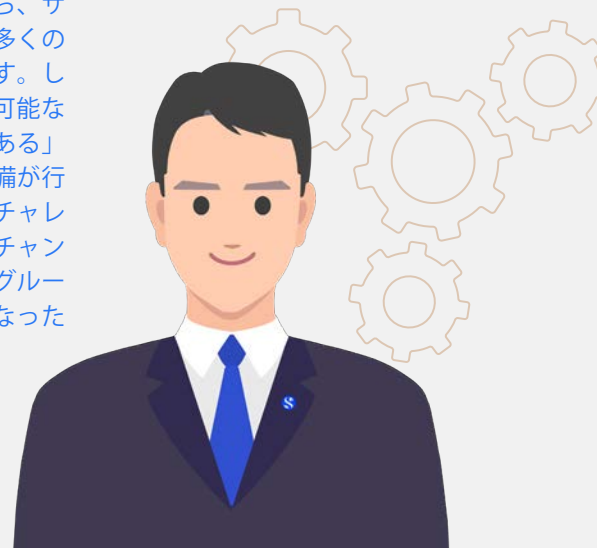
ESGは持続可能な成長のために、すべての企業が真剣に向き合うべき経営テーマです。しかし、足早に対応している大企業とは異なって、多くの中小・中堅企業はESGを準備する余力がありません。新韓銀行はこうした中小・中堅企業を対象に、環境金融とESG経営に対するコンサルティングを先行的に支援することで、実質的な支援を提供しています。さらに、優秀な韓国の諸企業がESGで競合優位に立てるようにサポートしており、こうした点から大きなやりがいを感じています。

新韓銀行 ESG企画室長
パクジョンジン

A2

急変する経営環境に迅速に対応しながら、サステナビリティ経営を推進することは多くの企業にとってチャレンジングな課題です。しかし、全役職員がESGを「企業の持続可能な成果の価値を高めるための必須戦略である」と認識している新韓カードのような準備が行き届いている企業にとって、こうしたチャレンジは飛躍のチャンスです。ピンチをチャンスに変える競争力の確保に、新韓金融グループの進んだESG経営が頼もしい支えになったことに誇りを感じています。

新韓カード ESGチーム長
キム・ゴン



A2

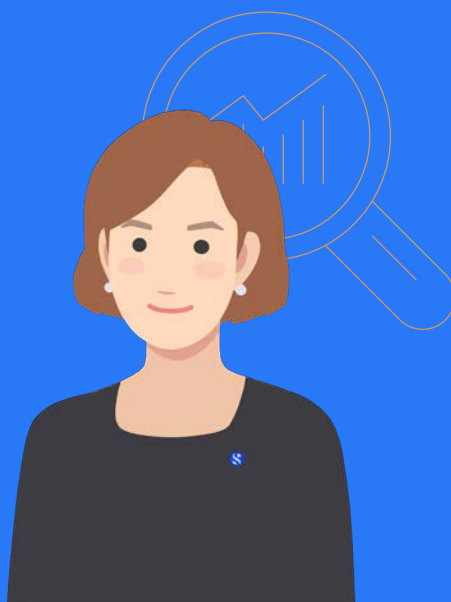
近年、爆発的な関心を集めているESGですが、2022年には世界的な金融引き締め基調の中で厳しい一年でした。ESGの明確な基準がまだなく、我々のESG活動が未来の世代にどのような影響を与えることになるか確かではありませんが、環境保全に対する関心が高まり、社会的弱者に対する気遣いが広まることを目の当たりにしながら、ESGの実践がゆっくりではあるが、世界をより良い方向に向かわせているという確信を持つことができました。もはやESGは、分かれ道ではなく、開拓の道であると思います。

新韓投資証券 ESG企画チーム長
チェ・ヨンスン

A2

お客さまの信頼を基に、長期保険商品を提供する新韓ライフにとって、ESGは正しい選択以上の欠かせない戦略です。しかも、持続可能な成長のためにお客さまの満足や消費者保護はもちろん、ステークホルダーとの共生が更に重要になりつつあるため、業務を遂行する際には常にESG経営の重要性を直接感じており、信頼できるESG経営を推進するために努力しています。

新韓ライフ パート長
ムン・ジョン



A2

炭素排出量削減のための全社的な取り組みと環境金融の戦略的な推進を通じて炭素集約度を改善し、その成果から将来の環境改善に貢献したという充実感を感じました。また、4年以上着実にベンチャー投資を拡大した結果、起業初期企業の業績向上はもちろん、新韓キャピタルの収益改善という実績を上げ、これを契機にESGを通じて「未来を共にするあたたかい金融」の姿をより一層期待することになりました。

新韓キャピタル 戦略企画部長
ムン・ミョンギョン

A2

投資家としてのエンゲージメント活動の過程で、株主レターに対して投資先企業から励ましの言葉が込められた返信を受け取りました。その後の対応ではESG経営に真剣に取り組んでいることを確認することができて、仲間意識のような嬉しさを感じました。ESGに本気で取り組む企業が増えており、これに気が付く投資家の連帯が強化されれば、ESG投資は今は支流ですが、今後は主流になれると思います。

新韓資産運用 ESG戦略チーム長
ソン・テヒョン

Q3 今後も続けていくESGの歩みに対する覚悟と目標を聞かせてください。

A3

「ESGの法制化時代」と定義することができるよう、2023年は環境・社会・ガバナンスの全領域にわたって規制が強化されると予想されます。新韓銀行はESGにかかる規制への対応を超えて、急速に拡大するESG市場を持続可能な成長のモメンタムにするために努力します。特に、EとS領域間の創造的な連携と拡張、お客さまと現場中心の実行力の強化を通じて、ESG先導銀行としてのステータスを高めてまいります。

新韓銀行 ESG企画室長
パクジョンジン

A3

新韓カードは新韓金融グループのESG戦略と連携して、世界トップレベルのESG経営体制の確立に全力で取り組んでいきます。ESGを通じて引き続き企業の競争力を強化し、お客さまと社会、そして企業がともに持続的に成長する共生の好循環サイクルをつくっていく考えであり、そのために新韓金融グループのESG戦略の「正しく、早く、異なる」実行を積極的に進めていきたいと思っています。

新韓カード ESGチーム長
キム・ゴン

A3

グループのESG推進体制の中で、証券業にふさわしいビジネスを引き続き推進してまいります。特に、2023年には業界最高レベルのESG分析力を保有するリサーチセンターが中心となって、新韓投資証券独自のESG評価格付モデルを開発する予定です。このモデルを用いて自主的にESGを推進することに困難を感じている企業にコンサルティングを提供し、ESGの代表証券会社としての地位を確保し、また、環境ディールの受注にもつながるように準備していきたいと思っています。

新韓投資証券 ESG企画チーム長
チェ・ヨンスン



A3

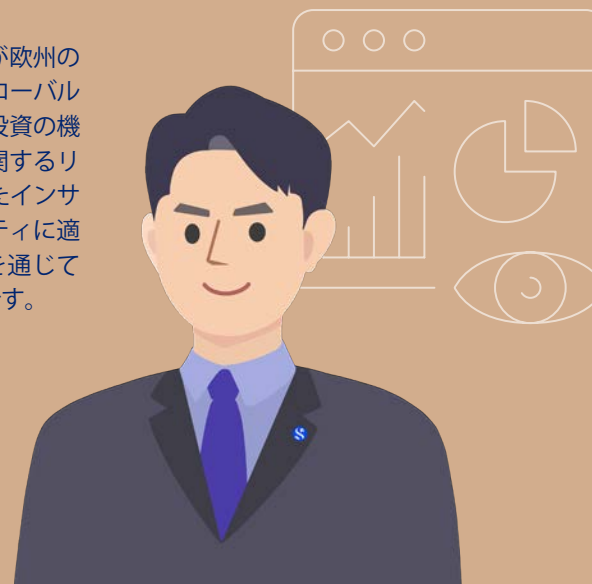
ESGに関する新たなトピックが引き続き発生しており、ESG開示の義務化及び開示のスタンダード導入の拡大など、外部のステークホルダーの要求が更に強化されると予想されるため、いつにも増して先行的・体系的にESG経営に取り組む必要があります。新韓ライフは、グループのESG戦略と連携してカーボンニュートラルの履行及び善い影響力の拡大を積極的に推進することで、新韓ライフならではの優れた競争力を確保してまいります。

新韓ライフ パート長
ムン・ジョン

A3

この間ESG企画・投資・審査の実務者が欧州の出張に行ってきましたが、そこで、グローバルにおけるESGのエコシステムと新たな投資の機会を感じることができました。ESGに関するリサーチとベンチマーキングを通じて得たインサイトで、IB会社としてのアイデンティティに適合した環境投資やベンチャー投資等を通じてESG実行の推進力を強化していく計画です。

新韓キャピタル 戦略企画部長
ムン・ミョンギョン



A3

資産運用会社のESG投資は、持続可能性と受託者の義務を同時に充足しなければならない難しいミッションです。ESGが超過パフォーマンスを創造することができる戦略として、確実に市場に定着するまでは多くの挑戦と疑問が提起されると思いますが、市場の短期的な浮き沈みにぶれることなく、折れない心でESG投資を続ければ、新韓資産運用は真の「ESG投資の名家」として認められることでしょう。

新韓資産運用 ESG戦略チーム長
ソン・テヒョン

グローバルESG ACTION

新韓のESGの 視線はどこに向うのか？

2022年に「正しく、早く、異なる」ESGに取り組みながら
新韓は世界の動きに注目しました。

ESG開示の流れが正しい方向に向かうよう一助し、グリーン成長
における金融の役割と責任を正しく果たすために協力しました。
また、金融の気候行動の加速化を促すために、アジアの代表金融
機関として国際イニシアチブにリーダーとして参加しました。
これからも、グローバルスタンダードが作られる過程に積極的に
参画しながら、世界の舞台でESGエコシステムの構築と
持続可能な社会の形成に貢献していきます。

新韓金融持株会社 ESG本部長 /
UNEP FI グローバル運営委員会アジア太平洋バンキング部門代表
チョ・ジョンフン



ESGの開示に関する 世界の流れを先導



*出所：韓国会計基準院

IFRS財団理事会ソウル総会及び ISSB懇談会に出席

2022.10 — 2021年11月、新韓は国連気候変動枠組条約（UNFCCC）の招請で締約国会議（COP26）に出席しました。ここで、国際財務報告基準（IFRS）財団はESG開示のスタンダードを制定するための国際サステナビリティ基準審議会（ISSB、International Sustainability Standards Board）の発足を公表しました。

2022年10月、韓国のESG先導企業の経営者らとIFRS財団の理事会議長及びISSB委員長との懇談会が開催され、新韓金融グループの趙鏞炳会長が出席し、世界的なESG開示に関する新韓の意見を伝え、基準のあり方を提案しました。

グリーン成長に向けた グローバル協力の強化



GGCとグローバルにおけるESGの 実行に向けた業務協定締結

2022.03 — 新韓銀行は、韓国の金融業界で初めてGreen Guarantee Company（GGC）と世界的なESGの実行に向けた業務協定を締結し、Zero Carbon Drive戦略のグローバルネットワークを拡大しました。



英国の環境担当大臣と気候及び 生物の多様性問題の解決に向けた 金融の役割について意見交換

2022.05 — 新韓金融グループの趙鏞炳会長は、英国の太平洋・国際環境担当大臣のゴールドスミス（Lord Zac Goldsmith）氏と気候及び生物の多様性問題の解決に向けた民間金融機関の役割について意見交換を行いました。



デンマークの気候大使とグリーン 成長のための気候ファイナンスの 活性化について意見交換

2022.06 — 新韓金融グループの趙鏞炳会長とデンマーク気候大使のクリステンセン（Tomas Anker Christensen）氏は、グリーン成長のための金融の役割について意見交換を行いました。





国際イニシアチブに
金融セクターの
リーダーとして参加



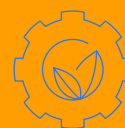
FINANCE
UNEP INITIATIVE

UNEP FI リーダーシップ評議会の年次会議に出席

2022.11 — 新韓金融グループの趙鏞炳会長は、2022年11月30日に開催されたUNEP FI（国連環境計画・金融イニシアチブ）の公式パートナーシップ機関である「リーダーシップ評議会（Leadership Council）」の年次会議に出席し、アジア地域のESGのトレンドを紹介し、ESGの開示について意見を提示しました。

新韓はまた、UNEP FIの理事会ともいえるGSC（Global Steering Committee）のアジア・太平洋地域のバンキング代表として参画しており、2022年9月にスイス・ジュネーブで開催された公式会議に出席するなど、UNEP FIと積極的にコミュニケーションしながら金融セクターのリーダーとして活躍しています。

グローバル革新的金融
エコシステムの構築に
寄与



「MUST.CONNECT SINGAPORE」 を開催

2022.10 — 2022年10月、シンガポールのサイエンスパークで、新韓金融グループが韓国産業通商資源部、仁川経済自由区域庁と一緒に開催したグローバル・スタートアップ・イノベーション・ロードショー「MUST.CONNECT SINGAPORE」が行われました。



「新韓Future's Lab日本」の発足

2022.11 — 韓国の代表的なスタートアップのアクセラレータープログラム「新韓Future's Lab」は、東京で「新韓Future's Lab日本」を新たに立ち上げました。



3
ESG PROMISE

一緒に、より 素晴らしい世界を 花開かせます

金融を世の中に役立たせようとした、常に新しさを追求した「新韓の40年」。
その時間は、新韓の真心が込められた約束と正しい実践で織り成されています。
そして、これからは「100年新韓」の答えをESGから求めたいと思います。
新韓のESG原則「FINANCE for IMPACT」で一段と強化された金融の善い影響力を
発揮し、より多くの人々と一緒により良い方向に変化していきます。
新韓は、約束したことを徹底的に、そして誠実に実行に移すことができるように、
確固たるESG推進体制とダイナミックな対応力を構築しました。
これをベースに、正しいESG文化を醸成し、ESGの実践を広く発信し、
ESGの真の価値を花開かせます。

イ・ダレ、踊る蝶々たち



発達障害のあるアーティストの
作品でつくるグッズ
ディスエイブルドSHOP



DO THE RIGHT THING

for a Wonderful World

ESG Insight

市場の資金仲介者の役割を担う金融機関には一段と高いESG経営が求められます。
金融をはじめとする産業のあらゆる領域で、ESGが企業にどのように新しい機会になるのか、
新韓金融持株会社ESG戦略委員会の郭守根委員長とのインタビューを通じて、ESGについてのインサイトをお伝えします。



クァク・スグン
郭 守 根
新韓金融持株会社 社外理事
ESG戦略委員会 委員長

Q1

金融機関に求められるESGガバナンスの重要性が強調されています。新韓金融持株会社も2015年に韓国の金融機関で初めてESG戦略委員会（旧・社会責任経営委員会）を新設し、ESGガバナンスの構築に万全を期していますが、その理由と役目を教えてください。

A1

企業をめぐる経営環境は早く変化しています。その上、投資家をはじめとする多様なステークホルダーがESGを企業経営の中核として統合するように強く要求しており、ESG経営は「ニューノーマル（New Normal）」として定着しつつあります。これは準備ができている企業にとっては機会ですが、そうでない企業には危機になります。ESGを持続可能な成長の機会にするためには、企画から実行組織に至るまで、一貫したESG戦略と目標を策定し、推進力を確保する必要があります。これがESGガバナンスの主な役割であると言えます。

特に、金融産業は糸のように複雑に絡まっており、企業に資金を供給する役割を担当しているため、ESG経営においてガバナンスの役割はひときわ重要です。気候危機や社会的不安は企業の資産価値の低下をもたらすことになり、企業に資金を供給した金融機関がこうした不確実性に先行的に備えることができない場合、国と産業に連鎖的な危機をもたらしかねないため、堅固なESGガバナンスの構築は欠かせないものです。

Q2

国内外のESG情報開示の法制化の動きの中で、新韓をはじめとする韓国の企業はどのように対応する必要があるのでしょうか。

A2

国際社会で企業のESG開示を義務付ける制度¹⁾が迅速に設けられています。ESGウォッシュ²⁾問題の解消に対する社会の要求と、企業のサステナビリティ経営の成果を正確に測定して企業間で比較可能性を高める目的もあります。したがって、企業は社内の様々な非財務情報を収集し、環境と社会、サプライチェーンに与えるインパクトとリスクを測定して公開する必要があります。これは避けて通れない巨大な流れであり、世界のESG開示基準がどのような方向性で形成させるのかを引き続き見極めると同時に、ESGのデータインフラを構築し、管理能力を確保するために努力する必要があります。

開示の客観性・信頼性を高めていく過程で、企業内部では成果管理の透明性や経営管理の効率性向上など、多くのポジティブな効果がもたらされ、開示資料が意味のある投資資料として活用され、ESG経営が財務的な成果を出す好循環サイクルを構築することができると期待しています。

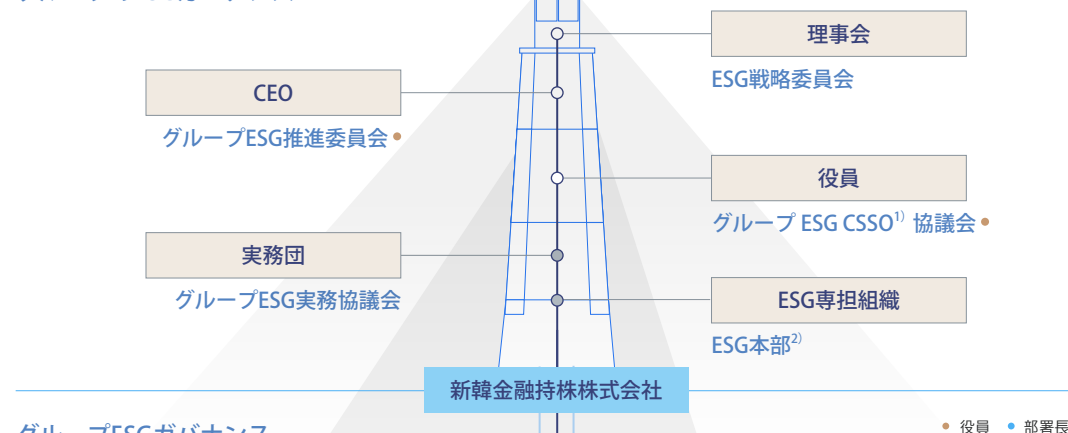


¹⁾ EUの企業サステナビリティ報告指令（CSRD）、米証券取引委員会（SEC）の気候関連開示規則、国際財務報告基準（IFRS）財団傘下の国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）が設定するサステナビリティ開示基準等

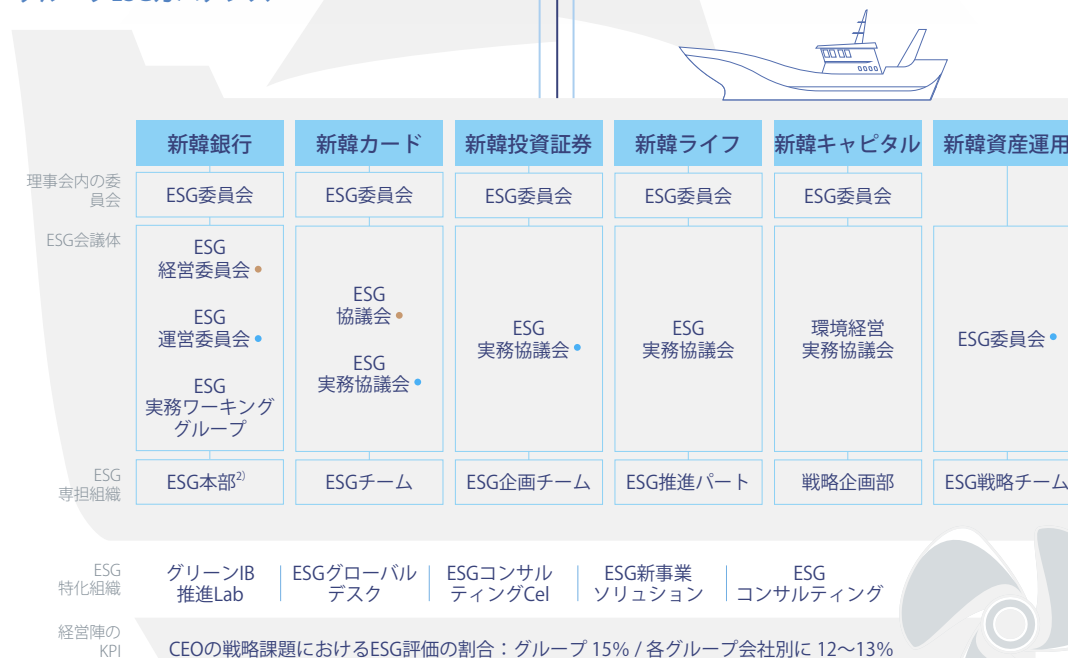
²⁾ ESG指標達成のための活動や改善に取り組んでいないにも、ESG経営を推進しているように見せかけること

新韓のESG推進体制

グループのESGガバナンス



グループESGガバナンス



¹⁾ CSO（Chief Strategy & Sustainability Officer）：戦略とサステナビリティ部門を統合管理する役割を遂行する役員

²⁾ 持株会社と銀行を兼職

ESG Plan

新韓ESG 正しく．早く．異なる

新韓にとってESG経営は企業経営の中心であり、日頃の基準です。
100年企業、持続可能な未来に向けた新韓の答えです。

新韓はESG経営環境をプロアクティブな視点で分析し、
チャレンジングな課題を設定しました。2025年の
「アジアのリーディングESG金融グループ」を目指して、
重点課題に取り組んでいきます。

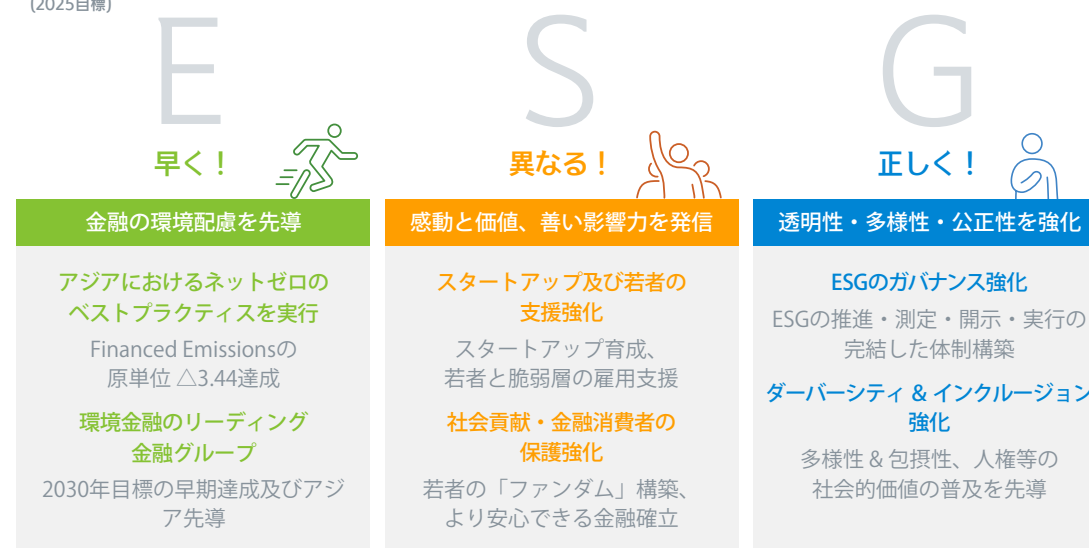
ESGに対する体系的な管理と生活の中での実践により、
金融の善い影響力をより遠くまで伝えることができるように、
「正しく、早く、異なる」取り組みで、ESGに価値を加えます。

2025 ESG 中期戦略



アジアのリーディングESG金融グループ

6つのコア課題
(2025目標)



DO THE **RIGHT** THING

for a Wonderful World

ESG Invitation



新韓のステークホルダーの皆さま

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ESG実践の足跡を残す「2022年ESGハイライト」の発行に際して、これまでの一年を振り返ってみました。

ここ数年、世界は不安定な国際情勢と景気低迷、異常気象に悩まされています。

2022年も例外ではありませんでした。

前例のない変化と混沌の時期でした。

しかし、このような時期にも「大切なことは折れない心」です。

私が直接会った多くのステークホルダーの方々は、ESGに対する支持と共感を堅持していました。

**「新たなスタンダード」として位置づけられた
ESGに対する決意は、折れません。**

出口が見えない厳しい時期であっても、
持続可能な成長に向けた取り組みを続けなければならないという信念は、
雨が降ったあとの地面のように、さらに固くなりました。

2022年は新韓の創業40周年を迎える
節目の年でもあります。

‘Do the Right Thing for a Wonderful World’

「素晴らしい世の中に向けた正しい実践」を約束する新韓のESGスローガンは、
新韓創業の土台となった「金融報国」の決意、
「金融を世の中に役立たせる」というミッションにつながっています。

新韓は持続可能な成長の価値を分かち合う金融の役割を果たすべく、
ステークホルダーの皆さまと一緒に道をつくりながら、
いかなる困難があっても、揺るぎなく前進します。

素晴らしい世界に向かう新韓の歩みに、今後ともお付き合いください。



チョ・ヨンピョン

新韓金融グループ 趙 鏞 炳

ESG Key Note

ESG戦略	36
ESGの歩み	37
ESGイニシアチブへの参画	38
ESGに対する対外の評価	39
ESGの成果	40

ESG戦略

新韓金融グループはESG戦略フレームワークを構築し、3つの戦略方向（環境・共生・信頼）をもとに、5つのインパクト課題と10の戦略指標を策定して運営しています。



ESGの歩み

新韓金融グループは、企業の環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）における世界の流れに足並みを揃え、ESG3.0に取り組んでいます。

Shinhan Milestone

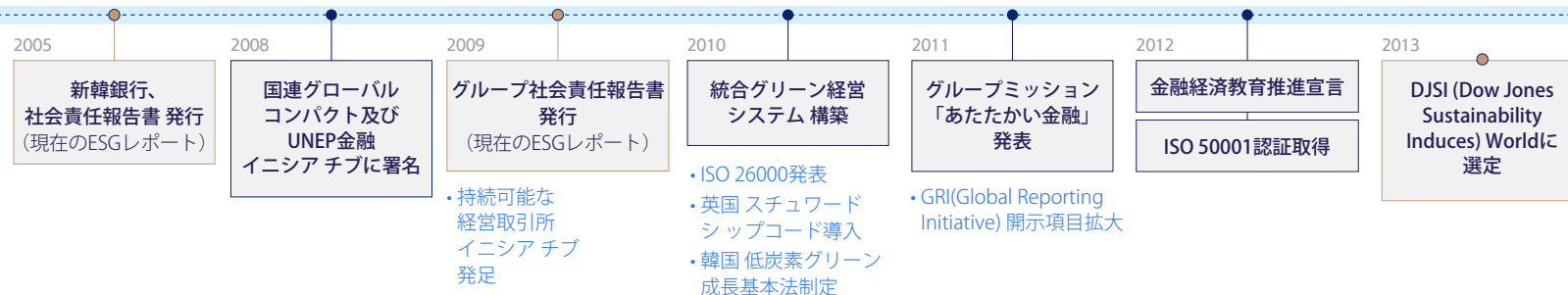
ESG Trend

韓国の金融機関初

Shinhan ESG 1.0

CSR
社会貢献

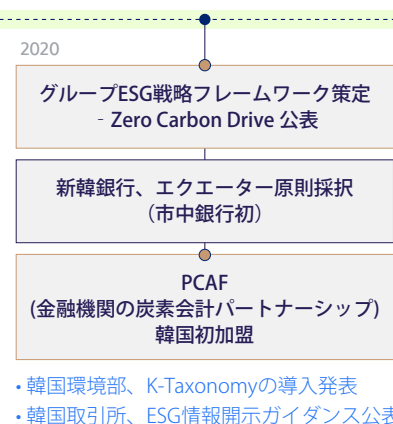
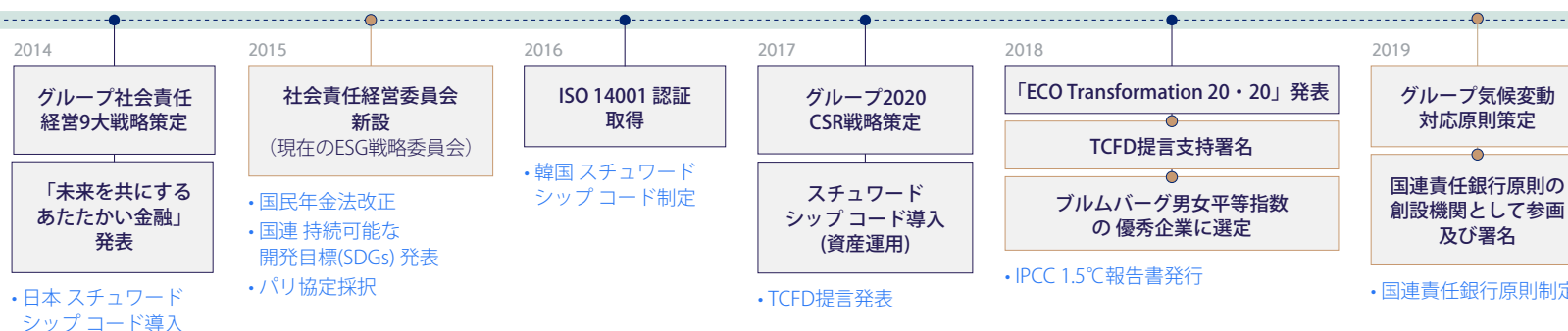
- 企業の社会的責任遂行



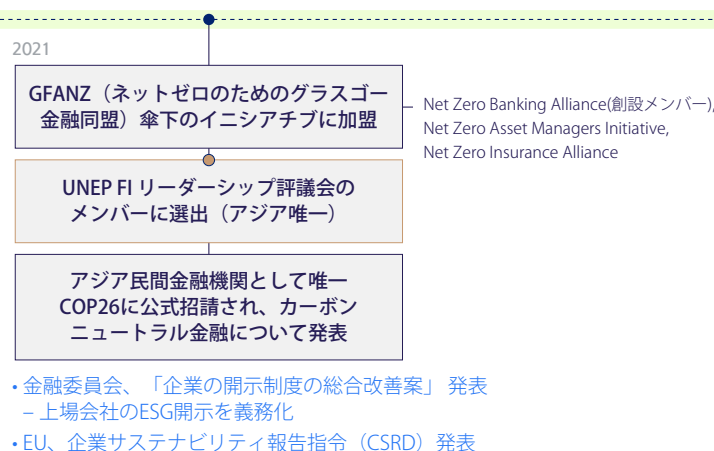
Shinhan ESG 2.0

CSV
共有価値の創造

- 企業がESG経営を認識する段階
- 環境・社会に対する責任の増加



東アジア初のグループの
投資ポートフォリオを含む
カーボンニュートラル宣言



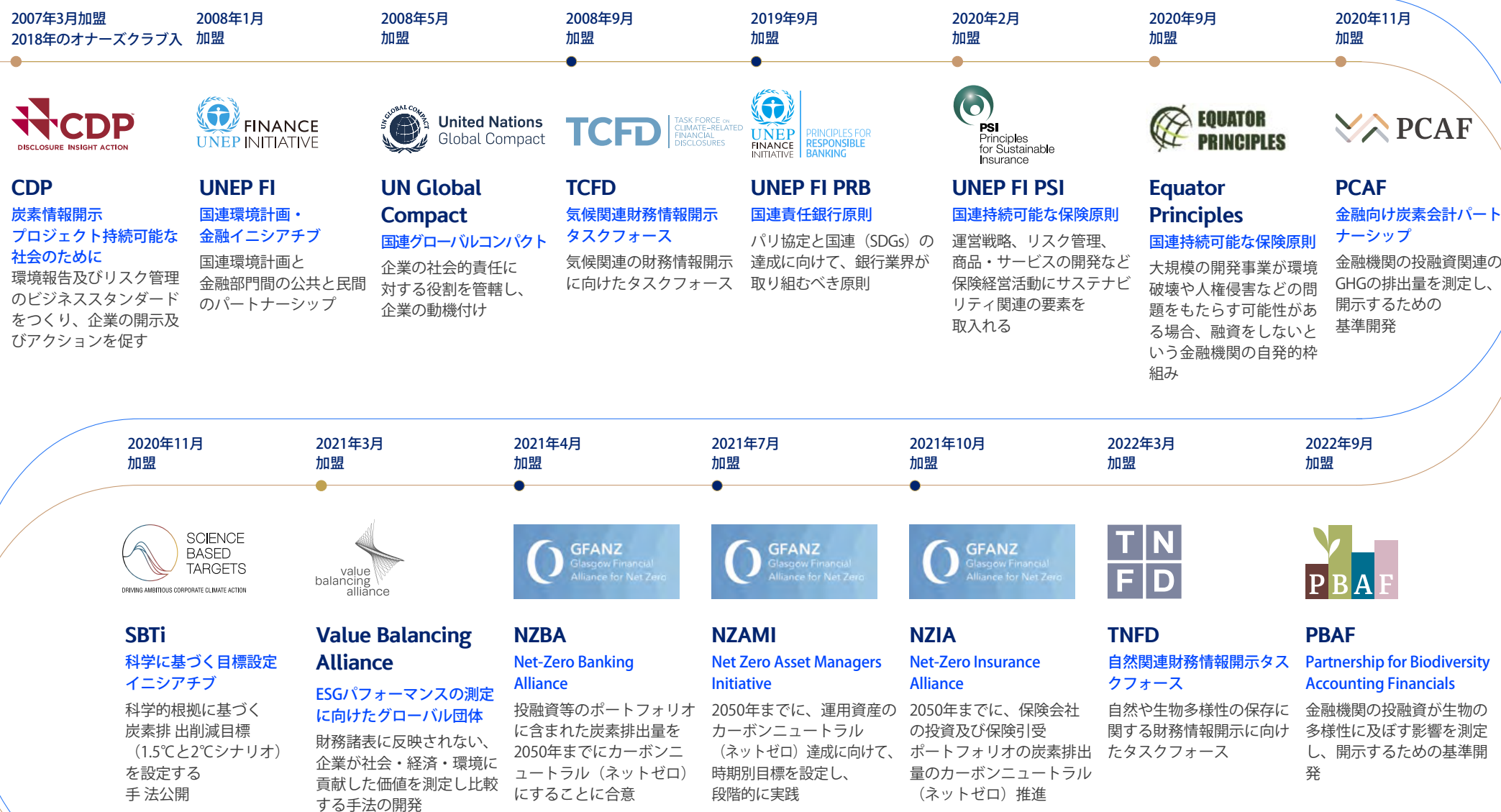
Shinhan ESG 3.0

ESG
サステナビリティ経営

- 企業のESGの内在化段階
- ESGを戦略に統合、評価に反映
- 新韓ならではのESG成果創出

ESGイニシアチブへの参画

新韓金融グループはESGアジェンダのルールをつくるイニシアチブに積極的に参画しています。



ESGに対する対外の評価

新韓金融グループは透明な情報公開を通じてESG体制を発展させており、ESG評価機関からこうした取り組みの優秀性が評価されています。

GLOBAL RECOGNITION

[韓国金融機関初]



10年連続DJSI Worldに選定
(14年連続DJSI Worldに選定)

[韓国金融機関初]



10年連続Leadership A/A-取得

[韓国金融機関初]



7年連続AA格付取得

[韓国企業初]



ISS Quality Score Grade: 1



2023年GEI 5年連続選定

[韓国金融機関初]



8年連続ESG統合格付A+取得

[韓国企業初]



4年連続最高(AA)格付取得

ESGの成果

新韓はグループとグループ会社のESGの実行力強化に向けて、10の戦略指標を設定し、ESGを定量目標として管理しています。

環境 共生 信頼

グリーン金融

8.15兆ウォン

(2020～2022年)

自グループの炭素排出量

99,163 tCO₂eq

Financed Emissions (炭素集約度)

20.36

(2022年11月末現在)

女性管理者の割合

8.7%

(2022年末の人事を反映したもの、
対象：持株会社/銀行/カード/証券/ライフ/キャピタル/資産運用/清州の8社)

女性部長の割合

13.0%

従業員の満足度

76点

(100点満点)

環境金融の拡大

自グループの炭素
排出量削減

投融資ポートフォ
リオの炭素排出量
削減

女性リーダー
育成

従業員の満足度
向上

革新的金融・ニュー
ディール金融の
拡大

スタートアップ
事業強化

金融包摂の継続

金融教育強化

顧客の満足度向上

革新的金融・ニューディール金融

27.3兆ウォン

新規育成企業

812社

(2015～2022年)

庶民金融

4.27兆ウォン

金融教育受講顧客

313,571人

顧客満足度

94.5点

(2022年新韓銀行、100点満点)

10の

ESG戦略指標の主な成果

* 本指標は第三者による検証前のものであり、変更する可能性があり、6月末のESGレポートに確定した数字を公開する予定です。

作家の紹介

「ディスエイブルド（THISABLED）」は発達障害のあるアーティストと一緒に新しい芸術文化をつくっていくソーシャルベンチャーです。障害を意味する「Disabled」からネガティブな意味の接頭語「Dis」を「This」入れ替え、単語一つの変化がもたらす大きな響きを伝えるために、発達障害のあるアーティストと一緒に活動しながら、社会的・経済的自立の基盤を提供しています。

発達障害があるアーティストたちは言語や文化に関係なく表現される芸術を通じて、自分たちが見つめる世界との対話を試みています。新韓とディスエイブルドは、2018年に新韓銀行が発達障害のあるアーティストが参加したディスエイブルドの初めての展示会を後援したことを皮切りに、2021年には新韓スクエアブリッジ・ソウルのインキュベーションのコーチングに続き、2022年には新韓オープン・イノベーションのショーケース参加、そして、新韓金融グループのESG活動が盛り込まれたレポートの発行まで、発達障害者と健常者の対話の場をつくるために、引き続き協力しています。



キム・チェソン作家

童話のような画風のキム・チェソン作家は、時にはエキセントリックで好奇心に満ちた絵を描くこともあり、愛らしい絵を描くこともあります。直接つくったキャラクターを利用して様々なストーリーを創り出すこともある豊かなエコロジカルな感性の持ち主です。



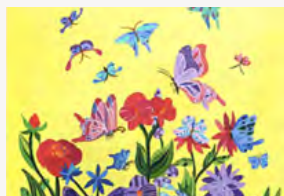
クォン・ハンソル作家

多様なテーマと媒体を利用して、自分の世界を表現するクォン・ハンソル作家の絵の中心にはいつも「歌」があります。猫、自動車、花など、周りでよく見かける素材からその美しさを見付け出し、立体的に表現する作品から共感的な楽しさが感じられます。



チェ・ソウン作家

木のぬくもりと触感に魅了され、木版で絵を描き始めたチェ・ソウン作家にとって、版画は希望であり、愛を伝える媒体です。ユニークな表現技法が特徴であり、作品のバラエティーを存分に表現し、木版画を再解釈したと評価されています。



イ・ダレ作家

イ・ダレ作家の絵には、どこかで見たことのあるような自然の姿が描かれています。強烈でありながらも調和を成している色彩から伝わってくる純粋であたたかい感性、そこに自然の息づかいというメッセージを込めて、作家の目づかいであたたかく観客を包み込みます。

チャレンジ作家

才能があり、芸術を愛する発達障害者の誰もが自身の作品を掲載することができる発達障害のあるアーティストの遊び場「ハーティズム（HEARTISM）」は、みんなに開かれています。新韓ESGハイライトに使用された作品を描いた**パク・ジス、ソン・シウ、ハン・サンウォン**作家をはじめ、素晴らしいアーティストを夢見るチャレンジ作家の挑戦を応援しています。

出版情報

発行機関

新韓金融持株会社
ソウル特別市中区世宗大路9ビル20
(太平路2街120)

発行日

2023年2月7日

問い合わせ先

新韓金融持株会社
グループ戦略・サステナビリティ経営部門
ESG企画チーム
esg@shinhan.com
esg.shinhangroup.com

デザイン

Talantone Creative Group
www.talantone.com

